

(参考) 財務局及び財務事務所において判断した各地域の経済情勢

	総括判断（6年7月判断）	前回との比較	総括判断の要点
北海道財務局	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。観光は、緩やかに持ち直している。

東北財務局	持ち直している	➡	個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、生産用機械が海外メーカーで設備投資の動きがみられることから持ち直しつつあるほか、電子部品・デバイスがスマートフォン向けなどで持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 宮 城	持ち直している	➡	個人消費は回復に向けたテンポが緩やかになっており、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
➤ 青 森	持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しており、生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は持ち直しの動きに一服感がみられる。
➤ 岩 手	持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しており、生産活動は一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響がみられるものの、全体として持ち直しつつある。雇用情勢は持ち直しつつある。
➤ 秋 田	持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しのテンポが緩やかになっており、生産活動は緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は横ばいの状況にある。
➤ 山 形	持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は持ち直しのテンポが緩やかになっており、生産活動は横ばいの状況にある。雇用情勢は、有効求人倍率は高水準を維持しているものの、足踏みの状況にある。
➤ 福 島	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	➡	個人消費は持ち直しの動きに一服感がみられ、生産活動は一進一退の状況にある。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

関東財務局	持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるなか、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、輸送機械などが増加しているものの、生産用機械、電気機械などが減少しており、弱含んでいる。雇用情勢は、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあるなか、改善しつつある。
➤ 埼 玉	持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるなか、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあるなか、持ち直しつつある。
➤ 茨 城	持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	雇用情勢は緩やかに持ち直しているものの、個人消費は回復に向けたテンポが緩やかになっており、生産活動は一進一退の状況にある。
➤ 栃 木	持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 群 馬	持ち直している	➡	個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。
➤ 千 葉	持ち直している	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
➤ 東 京	回復しつつある	➡	個人消費は、回復しつつある。産業活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、改善している。
➤ 神奈川	回復に向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、回復しつつある。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 新 潟	持ち直している	➡	個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、改善しつつある。
➤ 山 梨	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 長 野	持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。

北陸財務局	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直しつつある	➡	個人消費は、地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している。生産活動は、地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直しつつある。雇用情勢は、地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
➤ 石 川	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直しつつある	➡	個人消費は、地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直しており、生産活動は、地震後の復旧が進んでいることなどから、緩やかに持ち直しつつある。また、雇用情勢は、地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
➤ 富 山	地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつあり、生産活動は地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直しつつある。また、雇用情勢は、足踏みの状況にある。
➤ 福 井	北陸新幹線の県内開業効果もあって、持ち直している	➡	個人消費は北陸新幹線の県内開業効果もあって、緩やかに回復しつつあり、生産活動は持ち直しつつある。また、雇用情勢は、持ち直している。

東海財務局	回復の動きに一服感がみられる	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善している。
➤ 愛 知	回復の動きに一服感がみられる	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善している。
➤ 岐 阜	回復に向けた動きに一服感がみられる	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
➤ 静 岡	回復に向けた動きに一服感がみられる	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、おおむね横ばいとなっている。雇用情勢は、改善に向けたテンポが緩やかになっている。
➤ 三 重	持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、改善の動きに足踏みがみられる。

(注) 6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断。

	総括判断（6年7月判断）	前回との比較	総括判断の要点
近畿財務局	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、人流の回復やインパウンドの増加により、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 大 阪	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
➤ 滋 賀	緩やかに持ち直している	↩	個人消費は回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は持ち直しつつある。
➤ 京 都	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は回復しつつある。生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は緩やかに持ち直している。
➤ 兵 庫	持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢はテンポが緩やかながらも、持ち直しつつある。
➤ 奈 良	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は足踏みの状況にある。雇用情勢は持ち直しつつある。
➤ 和歌山	持ち直している	➡	個人消費は持ち直している。生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は緩やかに持ち直している。

中国財務局	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
➤ 広 島	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、一部に強さがみられるものの、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
➤ 鳥 取	持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、弱含んでいる。
➤ 鳥 根	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
➤ 岡 山	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
➤ 山 口	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

四国財務局	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↩	個人消費は、観光が緩やかに回復しているものの、スーパーやコンビニエンスストアが底堅いものとなっていることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、汎用・生産用機械で持ち直しのテンポが緩やかになっているものの、食料品が緩やかに持ち直しているほか、非鉄金属が回復しつつあることから、全体としては一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 香 川	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↩	個人消費は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 徳 島	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↩	個人消費は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
➤ 愛 媛	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↩	個人消費は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
➤ 高 知	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↩	個人消費は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

九州財務局	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある。生産活動は、海外経済の減速などの影響がみられるなか、横ばいの状況にある。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 熊 本	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、海外経済の減速などの影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。
➤ 大 分	回復に向けたテンポが緩やかになっている	↩	個人消費は、物価上昇の影響がみられるなか、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、海外経済の減速等の影響により、このところ横ばい圏内にある。雇用情勢は、企業の人手不足感が広がっているなか、有効求人倍率は高止まっており、緩やかに改善している。
➤ 宮 崎	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、食料品工業が横ばいの状況のなか、海外需要の減少などの影響がみられ、電子部品・デバイス工業などが弱い動きとなっており、弱含んでいる。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
➤ 鹿児島	回復に向けたテンポが緩やかになっている	↩	個人消費は、物価高の影響がみられるなど、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、一部において受注回復の動きがみられるものの、弱含んでいる。雇用情勢は、有効求人倍率が低下するなど、持ち直しの動きに弱さがみられる。

福岡財務支局	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響等がみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 福 岡	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響等がみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
➤ 佐 賀	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
➤ 長 崎	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

沖縄総合事務局	回復しつつある	➡	個人消費は、緩やかに回復している。観光は、回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
---------	---------	---	--